

# ふるさとの木

## ミズナラ (高江)



場所：新冠町字高江 (判官館森林公園内)  
樹木の太さ：約1m



郷土資料館前における御料牧場時代の牧柵を再現したもの。  
当時と同じミズナラを一部使う。  
製作：新冠郷土文化研究会

### 木の特徴

ブナ科の落葉高木で20～25m、直径80cmになる。樹皮は黒褐色で、深い不規則な裂け目があります。葉は倒卵形をして先はとがり、縁は鋭い鋸歯があります。6月には雌雄の花穂が新枝に別々に出ます。雄花穂は長さ5cmくらいで、ひも状に垂れ下がり、雌花は葉の脇に花穂をつけます。

ナラの木は堅いのと重いのが特徴で、材には多量の水が含まれていることから、ミズナラという和名がつけられました。家具、建築材など用途は広く、新冠では昔から牧柵、薪炭材、シイタケのホダ木として多くの人達に親しまれ使われてきました。

《文～大下謙二さん》

### この木と歴史のかかわり

判官館は、義経伝説やアイヌ伝説、江戸時代における新冠会所など、様々な伝説と歴史が息づく神秘的な場所です。その昔、新冠と呼ばれる前、この付近は「ピボク」とアイヌ語で呼ばれていました。これは岩の陰という意味で、判官館のそばをさしていたと考えられています。また、判官館はシャクシャインが最期を迎えた場所でもあります。このミズナラは、自然豊富な判官館の中でも特に立派な大木で、樹齢は数百年を超えらると思われます。新冠では昔、御料牧場の牧柵にミズナラが使われ、明治時代はその柵の延長距離が272kmもあったそうです。

《文～新川剛生学芸員》

### 小竹町長の動静 & まちのできごと

10月

●は町長出席

- 2日、新冠町老人スポーツ大会
- 3日、農業サミット
- 5日、新冠町防災避難訓練、優駿浪漫街道サイクリングBコース出発式
- 9日、第4回臨時会
- 10日、日高中部通年雇用促進協議会通年雇用支援セミナー
- 10日、例月出納検査
- 11日、日高地区PTA研修大会新冠大会
- 15日、体育の日記念新冠町地区別ソフトボール・ソフトミニバレーボール・パークゴルフ大会開会式
- 13日、西新冠地区パークゴルフ大会
- 16日、ホッカイドウ競馬旭川開催閉幕セレモニー(旭川市)
- 17日、庁内会議
- 19日、日高中部消防組合新冠消防団秋季総合演習
- 20日、日高地域づくり連携会議(浦河町)
- 25日、東京新冠会第24回総会(東京都)
- 26日、入札
- 28日、指名選考委員会
- 29日、入札、役場庁舎避難訓練
- 30日、北海道町村会理事会(札幌市)

### 人のうごき

(平成20年10月末現在)

人口	5,900人	(前月比 - 7人)
男	2,872人	(前月比 - 5人)
女	3,028人	(前月比 - 2人)
世帯	2,583世帯	(前月比 ± 0世帯)
外国人登録者	38人	

